



大阪府北部地震に続き、西日本豪雨災害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。現所在地元議員と連携を取りながら被災者支援を続けております。仙台市総務財政委員会においては、今回の被害で課題とされた防災減災の危機管理等について取組状況を確認しました。市民の方からは市内のダム放流についてその避難行動がわかりにくいというお声も聞かれ、安全が図られるための対策について議論を行いました(別途掲載)。その他の市政課題や議会活動についてもご報告申し上げます。



8月7日厚生労働大臣及び高木美千代副大臣に対して、あおぞら診療所・田中院長(小児科医)と共に「**医療的ケアを必要とする重度心身障害児の気管力ニューレが学校管理下で外れた際など再挿入を必要とする学校及び救急救命士の応急措置に関する要望書**」を提出しました。医療的ケアを必要としながら学校等に通うことのできる児童・生徒の数は、平成17年から27年までの11年間で9400人から

17000人と、2倍にまで伸びております(厚生労働省調べ)。教育現場において医療・看護との連携がこれまでの概念では立ち行かなくなっている。学校現場で懸念されているのは、万が一気管力ニューレ再挿入時のミスによって事故が発生した場合に、学校及び看護師等が責任を問われるおそれがあり、措置をしないことにより重篤な事態を招く事態でも、気管力ニューレ再挿入の行為を積極的に行えない状況が起きています。重度心身障害児が安心して学校生活を送れるよう早急な対応を求めました。高木副大臣からは、文部科学省の検討会と連携して取り組む旨のお話がありました。



目黒区での女子児童虐待死事件を受けて、**仙台市児童相談所の職員体制の強化や関係機関との情報共有の徹底など調査確認**を行いました。現在、仙台市児童相談所における児童福祉司の配置は23名となっており設置基準の28名と比較して5名減の状況。仙台市内においてH29年度の虐待相談件数は2697件と年々増加。虐待件数は697件と前年より46件減少の数字を示している。対応内容が複雑なケースが多く対応のスキルの充実が課題。



新潟市内の女子児童が殺害され線路に遺棄されるという痛ましい事件がおき、改めて「**登下校の児童・生徒に対する安全対策に関する緊急要望書**」を以下5点について提出。

- 1 通学路の点検強化と対応・対策の実施、
2. 防犯カメラ設置補助事業の更なる拡充と周知、
3. こども110番の更なる協力者の増加、
4. 防犯ブザー等の緊急対応への拡充等、
5. 「不審者情報メール」の地域への共有範囲拡充。市長からは教育委員会と連携して検討するとの答弁がありました。



【北中山連合町内会・西中山連合町内会・実沢区民会合同による泉警察署・泉区役所へ要望書を提出】 (紹介議員としておだしま久美子議員が同席)



陳情の内容①仙台市泉区北中山二丁目(二十五街区・二十六街区)と、三丁目(一街区・十八街区)の隣接する交差点の南北方向信号機に右折矢印信号機の設置。②仙台市泉区北中山二丁目(二十五街区・二十六街区)と三丁目(一街区・十八街区)の隣接する交差点の東西方向に右折レーンの増設と右折信号の設置。この後現場検証実施。

【第13回特定非営利活動法人「宮城県患者・家族団体連絡協議会」



仙台市シルバー人材センターにおいて開催され総会に参加し、難病相談支援センター事業についての電話・面接相談について、疾病毎の相談件数等、ボランティアとして参加している方々のご報告をお聞きしました。

【西中山の住居表示変更の式典開催】



7月23日から西中山の住居表示が変更されることを記念して、町内会役員・育成会の皆様のご尽力により盛大に式典が開催され、多くのご来賓がお祝いに駆けつけました。西中山の歴史や南町内会元会長の石黒さんがデザインした西中山のロゴが旗となったこと等が紹介され新たなスタートとなりました。

【宮城県特別支援学校 小松島支援学校松陵校 開校式】



児童生徒の増加に伴い、教室が不足していたことが課題となり、仙台市立松陵小学校跡施設を活用することになり、今回の開校となりました。分校小学部・中学部の児童生徒 30~40 人が通学予定。

【仙台市教育委員会主催】 【不登校支援における学校と家庭の連携】 講座



第一部は宮城教育大学特別支援教育、植木田教授の講座を受講。第二部はパネルディスカッションが行われ立場の違いの中で支援と連携の在り方について議論が行われました。児童生徒の一人一人の違いを理解し支援につなぐことの重要性が求められている。

